

審議会会議録

会議名称	令和5年度第1回大滝区地域協議会		
議 題	議案第1号 令和4年度大滝区振興基金対象実績について 議案第2号 令和6年度大滝区振興基金対象事業計画について		
開催日時	令和5年10月27日（金） 午後2時00分～午後2時55分		
場 所	伊達市大滝総合支所 1階 防災多目的ホール		
出席者	出席者9名		
	所管部課名	大滝総合支所 地域振興課 地域住民係	
公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0名
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p>【会議の概要】</p> <p>1. 開会 地域自治区の設置に関する協議書（以下「協議書」）第9条第4項の規定により、会議成立の旨、事務局から報告</p> <p>2. 市長あいさつ 今日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 本日の内容については大滝区振興基金で対象となっている事業の実績と今後の計画について皆様にご協議いただくということになっております。その他で自家用有償など新しい取り組みについての報告を予定しております。また、他にもせっかくの機会ですので何かありましたら忌憚のない意見いただければと思いますので、本日のこの協議会が有意義なものになりますようご協力いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>3. 会長あいさつ 新市長となり初めての協議会となります。 前会長、前市長が退任しまして約半年が経ちましたけれども、懸案事項もごさいますが皆様方と協議会を進めていきたいと考えておりますよろしく申し上げます。</p> <p>4. 署名人の選任 審議に先立ち、会議録署名人に今井委員、岩花委員を指名</p> <p>5. 議題 議案第1号 令和4年度大滝区振興基金対象事業実績について 事務局より説明（別紙資料のとおり）</p> <p>○質疑応答 委 員：高齢者等外出支援サービス事業、高齢者生活援助事業の具体的な内容は。 事 務 局：外出支援は支所など公共施設への移動がおもなもの。高齢者生活援助事業の内容は一部草刈、大半が除雪。</p>			

議案第2号 令和6年度大滝区振興基金対象事業計画について

事務局より説明（別紙資料のとおり）

敬老会は、ここ数年コロナの関係でお弁当配布としていたが、5類へ移行したことから、今年9月のお弁当配布時にアンケートを実施。結果は8割近くがお弁当配布であったものの一部の方は皆さんと交流の場が必要という意見もあったことから、令和6年度はお弁当の配布と集まってお弁当を食べる形を選択してもらう予定。集まる場合の会場は大滝基幹集落センターとしお弁当を食べる前か後かはまだ未定だが、食べるだけではなく、高齢者向けスマホ講座や健康体操などを開催し有意義な時間を過ごしていただきたいと考えている。実施後に検証して7年度の実施方法を検討する。

児童生徒医療費助成については、令和6年8月から伊達市として高校卒業までの児童生徒医療費無料制度が開始の予定、ただし初診料、課税世帯の1割が自己負担のため、その自己負担部分をこの事業で助成する。年齢制限も市全体の制度とあわせ高校卒業までに改正の予定である。

○質疑応答

委員：高齢者生活支援事業は所得制限などなかったか。

事務局：65歳以上で大滝に住んでいる方、所得制限はない。

委員：高齢者関係の実績が少ないが周知はされているか。必要な人が埋もれていないか心配である。

事務局：ケーブルテレビで周知している。今後は広報折込も検討したい。

委員：あまり元気な人に頼まれると費用も大きくなるのでバランスは難しいが必要な人はきちんと拾っていかなければならないので、社協や民生委員と連携して進めてほしい。

委員：基金全体の事なのですが、レイクカウチン事業を2年毎実施し金額が大きいことから近い将来基金が無くなる時が来ると思うが、そうなるここに載っている色々な事業が無くなるということか。

事務局：その時にどういう財源でやるかとか議論することになると思う。

委員：その議論は無くなってからするものか。

事務局：この協議会自体がいつまであるのかということも関係してくるので何とも言えない。

委員：本来だったら伊達市で負担してもらって事業なんかはやらしてもらって、新たな事業に充てていくということあってもいいのかなと思っているがどうか。

委員：英語の先生の部分は過去に基金の事業だったが今は市で負担している。

事務局：令和4年度のレイクカウチン派遣事業はコロナで必要以上に経費がかかった。今後はもう少し事業費が下がると考えている。

6. その他

事務局より情報提供 大滝区自家用有償旅客運送の概要について

企画財政課より説明。

○質疑応答

委員：前の説明では大滝喜茂別間のバスが無くなるからどうするかという流れだったと思うが、この資料を見ると大滝伊達間の事しか表示されていない。大滝伊達間ということであれば単にタクシーなのではないかなと思う。当初の説明と違ってきているように思うがどうなのか。それとこれを運行するにあたって行政は全くタッチしないということなのか。

事務局：スタートアップの部分に市で補助をしている。内容としては運転講習費用やアルコールチェッカーなど。運輸局と地域公共交通会議などタクシーやバス業者と協議中であり、大滝区民の皆様の利便性を考えながら進めている。

委員：バス会社とタクシー会社と協議中とのことだが概ね了解はしているということか。

事務局：一番料金を取るということを気にしている。この前道南バスと協議した際は競合しない内容であれば問題ないという感触のお話をいただいている。

今後壮瞥と伊達のタクシーとも協議していく。

- 委員：喜茂別にもタクシー会社があって、そこでは循環バスを運行している。どこのタクシー会社も人員不足で手が回らないのが現状のようだ。私個人的に思っているのは区民の方の山間部居住者はまず、バス停まで下りてくることも大変だし、自宅バス停間という利用もありではないかなと考えています。
- 委員：国民年金の人は多分7万円位しか収入がないのにこの金額は厳しい。相乗りだったらまだ費用を抑えられるが。
- 委員：相乗りだと費用は抑えられるので、利用者側で工夫しながら利用してもらえるとよい。料金に関しては多少高いと思われるがタクシーの半額程度、先進地の視察もしたが、最初が肝心で安い額でやると後で大変になってきて値上げしたいと思っても難しいようだ。運転してもらう方にもそれなりの金額を確保していかないとなかなか続かないと考えている。
- 委員：これは基金の事業にならないのか。
- 委員：それは委員皆様の考え方だと思うので何とも言えなが、個人的にはあった方がいいと思っています。バス会社は伊達市が補助金出すのか気にしていたので相当警戒しているのかなと感じました。
- 市長：道南バスとの関係もありますし、荷物が多いときにバス停自宅間などで利用するなど利便性があがるものと考えてます。
- 会長：こちらはまだ中間報告ということで、また具体的なことが決まりましたら報告していただけたらと思います。

事務局より情報提供 図書館について

図書館長より説明。

図書館大滝分室についてお話をさせていただきます。新聞報道等でご存じかもしれませんが現在老朽化した伊達市図書館をあらたに整備するため準備を進めているところです。

整備するにあたって財政的に有利な合併特例債を予定している。この財源は合併するとき利用できる財源であって利用条件は合併に伴い施設を統合して図書館一つにするという考え方。制度上では現在の図書館を廃止する取扱いにする必要がある。

しかし本館との距離もあることから、分室の機能を無くすことは現実的ではないので、何より住民の皆様にご不便をおかけするわけにもいきませんので、今までどおり貸出返却は行なっていきたいと考えております。ただ2階の図書室の表札を外すことし、大滝分室という名称は廃止し、違う名称に変更したいと考えております。新しい図書館は令和8年7月に開館予定で令和8年度より大滝分室は形上廃止となりますが実際の機能としては今まで通りとして進めてまいりたいと考えておりますのでご理解ご協力をお願いします。

○意見等

- 市長：条例上は無くなるが、基幹集落センターだけではなく例えば本町や優徳集会所に置くこともできたりとか色々柔軟に対応できると思うので、今後大滝区の皆様と話し合いながら進めていきたいと考えている。
- 委員：他の施設だと常時本を読む場所もないし、管理人の問題なんかもあるので一番利用しやすいのは今の集落センター。
- 市長：そういったことも含め話し合いながら柔軟に決めていきたいと思います。

閉会